

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：舘越 容子

書いた日：2023年12月14日

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、
ほめてやらねば、人は動かじ。」 by 山本五十六

こんにちは！今月の担当は洋野町の舘越です。横の写真は、うちの近くの海岸で撮った日の出です。
次の年賀状はコレできまりです(笑)。

11月某日、「(発達領域)じゃないOT」として、支援学校の訪問をしてきました。我が子の学校に保護者として行くことはあるものの、専門家という立場で、子供達や先生方と接するのは実は初めてです。すべてが新鮮で、OT22年目にして新人の気持ちで臨ませていただきました。

初めは私にとって異世界すぎて戸惑いましたが・・・子供達がニコニコと寄ってきてくれる⇒緊張がほぐれる⇒あとは、「学校OT」の先輩方から教えてもらった「知識」「スキル」「マナー」と、自分が持っているOT的思考やネタを何とか引っ張り出して、なるべく分かりやすい言葉で先生や子供達に伝える、という流れで何とか無事に終わることが出来ました(と思います・・・)。

<初の学校訪問を終えて思ったこと>

◎学校は、とてもにぎやか！子供達はとにかく楽しそう！

◎授業で行う活動の中に、各子供たちに合った発達を促すエッセンスがちりばめられている(←「専門家としてのアドバイスいらないんじゃない!?」と思うことも・・・きっと、今までこの支援学校に携わってきた学校OTの皆さんの成果が出てるんだな～)

◎子供達は、今できていることを褒めてあげると目が輝く。もしかして、私のような新人学校OTの場合、下手なアドバイス(☺)より、ほめて背中を押してあげる方が喜ばれるかも!?

対象となる人達のライフステージや置かれている環境などによりアプローチの仕方は変わってきますが、目標に向かって何かに取り組む時、冒頭の言葉が頭によぎります。特別支援教育の現場でも同じかも、と思った瞬間がありました。

家庭では、テレビでYouTubeを見ている我が子に対して、スマホをいじりながら小言を言っている私。子育てでも、この言葉を忘れずにやっていきたいと思う今日この頃です。

